

9月定例会のあらまし

9月定例会は、8月24日から9月21日までの29日間の会期で開催されました。

初日には、同意案件2件、教育委員会教育長と教育委員会委員の任命に全会一致で同意しました。また、議案2件、和解について、令和4年度弥富市一般会計補正予算（第6号）を全会一致で可決しました。その他、弥富市議会の議員及び弥富市長の選挙における自動車の使用等の公営に関する条例の一部改正について、令和4年度弥富市一般会計補正予算（第7号）など10議案と、令和3年度弥富市一般会計歳入歳出決算認定など認定6件、「海翔高校を存続させるための意見書」の採択を求める請願も提出されました。

中日には、令和4年度弥富市一般会計補正予算（第8号）が追加上程され、所管の委員会に付託しました。

最終日には、付託された議案、請願に対して、委員長より経過と結果の報告がされ、全ての議案を可決しました。請願は不採択としました。また、追加議案として同意案件1件、固定資産評価審査委員会委員の選任を全会一致で同意しました。令和4年度弥富市一般会計補正予算（第9号）は全会一致で可決しました。議員より、国の私学助成の拡充に関する意見書の提出についてなど発議2件が提出され、全会一致で可決しました。また、「議員派遣の件」につきまして、行政視察4件が提出されました。

初日



教育委員会 教育長の任命

問 十四山中学校のこともあり、非常に注目度の高い人事であるが、新教育長の何を評価し任命されたか。

答 市内小中学校の校長を歴任され、児童生徒、保護者や教職員からも人望が厚く、リーダーシップを発揮し学校運営をされ、近隣市町の教育委員会、海部教育事務所の指導主事を務め、教育行政の経緯も豊かであり、出身も弥富市であること。

和解について

問 一本和解条項の定めるもののほか、何らの債権債務がないことを相互に確認する」とあるが本件の原告は、残土撤去（本件分を除く分）において、債権債務関係にあるのではないか。

答 市の撤去分に限定し、債権債務が無いことを確認している。

議案質疑



弥富市議会の議員及び弥富市長の選挙における自動車の借等の公営に関する条例の改正について

問 現在の条例において、公営負担は高額では。

答 公職選挙法施行令の改正に準ずる。

弥富市立学校施設開放に関する条例及び弥富市十四山公民館条例の改正について

問 他の学校でも児童クラブが学校内に入ることが可能か。

答 施設の老朽化や児童の大幅増加がない限り考えない。

弥富市一般会計補正予算（第7号）

問 自治会への交付金に對し使い方の禁止事項は。

答 不動産、動産購入、積み立てなどは禁止。

問 保育所のおむつ処分は永続的か。

答 令和5年4月以降、国の補助はないが、保育所及び認定子ども園に永続的に行う。

本会議 最終日



問 社教センターの吊り天井撤去予算はなぜ減額か。

答 5月の入札が不調となったため設計単価等の見直しを行い、工事費が増額し発注時期が遅れた。

令和4年度、5年度の2か年工事を予定しているため。

可決 議案第53号に対して

反対 板倉克典、加藤明由議員

ポスター1枚当たり4千円近い金額を設定する必要は無く、自動車も現状で15800円と一般のレンタカー料金とかけ離れた金額で値上げの必要はない。被選挙権を補償するのであれば、照明や看板を補償すべきである。

反対 佐藤仁志、加藤明由議員

可決 補正予算（第7号）に対して

賛成 那須英二議員

討論

自治会支援金は、計画が未熟であり、自治会に混乱をもたらす。短期間に大金を振り込むことで、自治会の運営を揺さぶり致命的に崩壊する可能性がある。管理会社や家主の収益になる可能性が極めて濃厚であり、住民に対する経済対策にはならない。

保育所での紙おむつ園内処分は、多くの保護者が要求しており、保育士も保護者も負担が減り大変喜ばしい。自治会交付金は、課題・不安は残るが、市民の負担が減るということで賛成する。